

質問事項		選択式 回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年3月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	良くなっている	わが国経済は、総じて緩やかな回復傾向が続いている。 企業部門では、円安効果や米国経済の回復を受けて、実質輸出が2カ月連続で大幅に増加しており、これに伴い生産も、資本財や自動車を中心に増加。設備投資の先行指標である機械受注も、増加基調が持続。 一方、家計部門についても、本年1月の所定内給与(基本給)が前年同月比0.8%と2000年3月以来の高い伸びとなるなど、企業収益の改善が賃金上昇という形で家計に波及してきている。消費者態度指数も茲許上昇しており、消費マインドの改善が窺える。 こうしたなか、銀行貸出は、大企業、中小企業向けともに増加傾向が持続しており、設備投資向け貸出も前年比プラス圏を維持している。当行の営業現場の動きをみても、大企業が国内でも生産設備の拡大を検討したり、中小企業が既存設備の更新・機能強化ための投資を行うといった前向きな動きが徐々にでてきている。
経済の好循環実現に向けた取組について			
2-1	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的な考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	-	足許の経済の好循環を一層確かなものとするためには、政労使会議で合意されたように、賃金上昇や雇用拡大に引続き取り組んでいくことが重要だが、こうした動きが消費や投資の拡大に結び付くようにしていくことが必要。 具体的には、企業による投資の拡大を実現していくために、法人税率の引下げや国家戦略特区をはじめとした規制緩和など、企業の前向きな取り組みを促すような環境整備を政府として推進していくことが重要。 さらに、個人の消費拡大を促していくためには、国民の将来不安を払拭し、安心して消費できる環境を構築することが必要。そのためには、年金など社会保障について、世代間・世代内の不公平の是正や給付・負担の見直しなど、持続可能な制度の実現のための改革を実行していくことが不可欠。
2-2	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、考えがございましたら300字以内でご記入ください。	-	足許の好循環が中小企業にまで波及するためには、好循環の流れを一層太くし、継続的なものとしていくことがまずもって必要ながら、中小企業は円安によるコスト増や人件費増等、負の影響も受けているため、適正なコスト転嫁への取り組みも重要。また、波及に時間がかかるため、必要に応じて政府による支援も検討に値しよう。ただし、こうしたサポートは、低利融資や信用保証等、ばらまきではなく意欲ある中小企業の育成を支援するような仕組みにすべき。 さらに、政策的な対応としては、円安により海外事業の採算が悪化する企業が出てきているなか、例えば海外生産から撤退し国内回帰(リショアリング)する企業に対して税制優遇措置(特別償却等)を講じれば、国内調達が増加し、中小企業の需要増にも繋がると思われる。